

青谷かみじち遺跡 NEWS

Vol. **28**
2023 Summer

発行：とっとり弥生の王国推進課
青谷かみじち史跡公園準備室

〒689-0592
鳥取市青谷町青谷 667
鳥取市青谷町総合支所 2階
電話 0857-85-5011
0857-85-1711



古代米の田植え体験を行いました

今年も古代米の田植え体験を行い、青谷小学校の児童や青谷高校の生徒が参加しました。また、今年は海外からの留学生も参加し貴重な異文化交流の機会となりました。

児童・生徒たちは、最初おそるおそる泥の中に入っていましたが、作業が進むにつれ、あちこちで歓声があがり、楽しいひと時となりました。



関西大学
(講演参加者の皆さんがお面を装着)



愛媛県歴史文化博物館

ミュージアムキャラバン完走！

青谷上寺地遺跡で発見され、現代によみがえった弥生人「青谷上寺朗」が、全国の博物館などを行脚し、青谷上寺地遺跡をPRするミュージアムキャラバンが昨年6月にスタート。今月ついにゴールを迎えました。

約1年の間に、大阪府立弥生文化博物館（大阪府）、愛媛県歴史文化博物館（愛媛県）、あいち朝日遺跡ミュージアム（愛知県）、静岡市登呂博物館（静岡県）、関西大学（大阪府）、三内丸山遺跡センター（青森県）を訪ねた上寺朗に、たくさんの方が会いにきてくれました。上寺朗が持参したお面、缶バッジ、シールなどのグッズも大人気。みんなでお面をかぶった記念写真の撮影も大変盛り上がりました。

弥生人といえば、鳥取県の青谷上寺地遺跡。現在、整備中の青谷かみじち史跡公園が、これから上寺朗の新たな住まいとなります。開園しましたら、ぜひ会いに来てください。



三内丸山遺跡センター
(青森の中学生も興味津々)



静岡市登呂博物館
(マスコットキャラクターのトロペーと)

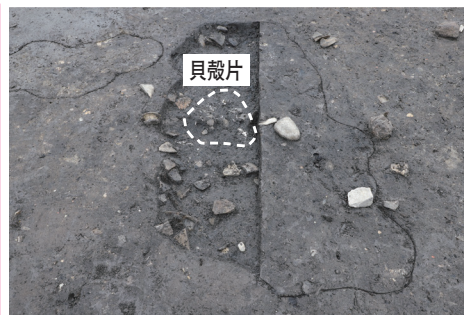


「弥生の湿地」に生えているヨシ

「弥生の湿地」の生き物たち

夏を迎えた史跡公園では、植物がぐんぐんと育っています。この春に造成が終わった池の中やその周辺にはヨシがたくさん生えてきて、湿地らしい雰囲気になってきました。池の中にはさっそくオタマジャクシ、イモリ、シマドジョウ、マルタニシ、ヤゴなどたくさん生き物が住みついていきます。わずか2、3カ月で命あふれる湿地が出来上がったのは、青谷の自然の豊かさゆえでしょう。公園完成後には、この湿地を、豊かな青谷の自然に親しみ、自然に学ぶ場として活用したいと考えています。

公園の整備工事はこれから園路の舗装や案内板の設置など、仕上げの工事を行っていきます。



炉を掘り下げた様子
(土器片と貝殻が出土しています)



溝の中から出土した鉄製のモリ (赤矢印)

古墳時代の生活跡が見つかりました！

5月から始まった発掘調査は、現在、古墳時代前期（約1700年前）の地層を調査しており、建物の柱穴や炉が見つかりました。炉の中からは貝殻や土器片が出土しており、当時ここで営まれた生活の様子がうかがえます。

古墳時代前期の地層を調査した後は、いよいよ人骨が埋まっているとみられる弥生時代後期（約1800年前）の地層まで掘り下げを進めていく予定です。